
Valhalla Night

野宮 悠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

V a l h a l l a N i g h t

【Nコード】

N 5 4 3 6 B A

【作者名】

野宮 悠

【あらすじ】

世界を創ったものたちは退屈だった。退屈さ故に、全てが始まった。異なる経緯、異なる世界、異なる目的で招かれた人間達が巻き込まれる、残酷なゲーム。それは確かに戦争で、正義も大義も無い殺し合いだった。戦場の名はヴァルハラ。死した兵士が最後に辿り着く、救いようの無い盤面。

0・Prologue

0・Prologue

世界を創ったものたちは退屈だった。

役目を終え、使命を果たし、神話の中の登場人物として語り継がれるだけの存在になっていた彼らは、途方もなく退屈だったのだ。肉体を持たない彼らは、悠久の時間で緩慢に進化する生命の成り行きを、額縁の向こう側から見守っているだけだ。環のようにならぶ幾つもの世界には自ら進んで干渉することなく、ただそこにあるだけの存在として君臨していたのだ。

彼らは退屈だった。永遠に続く生に、明確な意味を欲していた。

彼らの中の一柱が、同胞たちにある遊びを提案した。

人間たちが創り上げた神話の中のエピソードを、実際に再現しようとしたのである。

それは並行世界すべてを盤上にしたゲームだった。

それぞれの世界に存在する、もっとも彼らに近い人間をプレイヤーとして。

特定の条件を満たした人間たちを駒となって動く兵士として。

そして彼ら自身は観戦客となった。

これが、永遠のように続いた歴史の中で、初めて彼らが世界に干渉した瞬間だった。

歳月は激流のように彼らから心を攫っていき、幾星霜を重ねるうちに彼らは、自らの行いの残酷さに気付く事が出来なくなっていた。

そうして彼らは無自覚に無意識に、ほんの少しの悪意も内包しないまま、狂気の遊戯に興じたのだった。

戦場の名はヴァルハラ。

死した兵士が最後に辿り着く、
救いようの無い盤面。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5436ba/>

Valhalla Night

2012年1月14日22時59分発行